■第3回岩倉市基本条例検討委員会 グループワーク結果まとめ

【Aグループ】

項目	前文の文案	盛り込んだらよいと思う言葉
1.まちの成り立ちや特性	<p>当市は濃尾平野のほぼ中央に位置し、古くは縄文時代から人々が暮らしてきました。</p> <p>市中央を流れる五条川、桜並木の自然に恵まれ、神社仏閣、山車、のんびり洗いなど、有形無形の歴史・文化が残っています。</p> <p>コンパクトなまちで市民お互いの顔が見える親しみと思いやりのあるまちです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○濃尾平野のほぼ中央 ○先人から引き継いだ自然や文化・歴史 ○縄文・弥生時代からの歴史のあるまち ○五条川、桜並木、山車 ○コンパクト、顔の見えるまち
2.条例制定の時代背景	<p>しかしながら、刻々と変化する社会の中で、見通しにくい未来への不安を打破しなければなりません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○先が見えない不安
3.目指すべきまち・自治の姿、進むべきまち・自治の方向性	<p>私たちはこれまで脈々と受け継がれ、培われてきた資源や環境を守り、そのうえで誰もが成長すべく、人と地域、人と行政が互いに信頼しあえるまちを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○培われてきた地域資源・自然環境を維持しながら ○人の成長（人と関わり合いながら人は成長し、人の成長によって地域、まちが成長する） ○地域力の向上、相互扶助・助け合い ○人と地域、人と行政が信頼しあえるまち ○やさしいまち（安心・安全な暮らし）の実現 ○誰も（外国人、障害者等多様な市民を含む）がいきいきと暮らすことができる
4.理想とするまち・自治の姿を実現する手段として必要な事項・姿勢	<p>そのためには、市民は役割と責任を自覚し、行政と協働しながら、まちづくりに積極的に参画することによって、誰もがイキイキと暮らしやすいやさしいまちづくりを実現しなければなりません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市民・行政・議会、各々が役割や責任を自覚し、相互に理解し、実行する ○市民は市民活動・市民参加などを、行政はオープンに挑戦的に、新しいことにチャレンジする ○市民団体の連携強化
5.条例制定の目的・理由や決意宣言	<p>私たちは、岩倉市民として、自立の精神をたたえながら、自治の普遍的な基本理念を分かち合うため、ここに岩倉市自治基本条例を定めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○基本理念 ○普遍的なものである ○国や県に左右されない岩倉市としての自立の精神 ○市民憲章または将来都市像

【Bグループ】

項目	前文の文案	盛り込んだらよいと思う言葉
1.まちの成り立ちや特性	<p>まちの中心を流れる五条川をはじめとする豊かな自然に恵まれ、起伏が少なく、(歴史遺産もみられ)、古くから農業も盛んに営まれるまちとして発展しました。</p> <p>また、大都市名古屋にも近く、交通の便が良いことから、コンパクトな生活都市として発展し、市民主体の活動も心豊かな人々により営まれてまいりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生活しやすい、便利でコンパクトな生活都市(住宅都市・ホームタウン) ○五条川をはじめとした豊かな自然・きらりと光る歴史等の地域資源 ○市民主体の活動が盛ん
2.条例制定の時代背景	<p>地方分権の進展、少子高齢化の進行、市民意識の多様化などに対応して、市民一人ひとりが個人として尊重され、誰もが幸せに暮らせるまちを自ら創りあげ、未来を担う子供達に引き継ぐことが求められています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○少子高齢化等を背景とした行政だけでは対応できない地域課題の顕在化 ○地方分権、地域主権改革
3.目指すべきまち・自治の姿、進むべきまち・自治の方向性	<p>私たち市民は市民の手で市民の責任の下で市民自らまちをつくっていきます。そのために、市民、議会、行政が一体となって協働のまちづくりを進めていきます。</p> <p>このことにより全ての市民にとって、安全、安心、便利で、快適な住んでよかったと言われる生活の質の高いまちとなります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市民自らでつくる自治のまち ○協働のまちづくり ○安全・安心・便利・共生・快適・活力のあるまち
4.理想とするまち・自治の姿を実現する手段として必要な事項・姿勢	<p>市民一人ひとりが、自ら考え、行動する、自立した市民(自治体の一員)として、互いを思いやり、助け合いながら(自助・共助・公助)協働することが必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市民一人ひとりの自立(自律)の意識 ○お互いに思いやり、自ら考え、行動する。 ○意思と責任、自助・共助の精神
5.条例制定の目的・理由や決意宣言	<p>行政運営の基本である、市民参画により市民自らが責任を持って、その目指すまちを実現させるため、ここに岩倉市のまちづくりの最高規範としてこの条例を定めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○(次世代の市民に対する)説明責任を果たすため。 ○最高規範

【Cグループ】

項目	前文の文案	盛り込んだらよいと思う言葉
1.まちの成り立ちや特性	<p>わたしたちのまち岩倉市は、町の中心を流れる五条川と、美しい春の訪れを感じさせてくれる桜並木がある魅力のあるまちです。</p> <p>都会からの交通の利便性も良く、都会のベッドタウンとして発展してきました。</p> <p>音楽のあるまちという独自の文化も育み、守る市民の営みと交流があります。</p>	<p>○五条川・桜並木</p> <p>○交通利便性の高いまち</p> <p>○音楽のあるまちづくり</p> <p>※今の市民の姿・まちの姿は、将来的に変わるものなので記載しない方がよいのではないかと。</p> <p>⇒今後の検討課題</p>
2.条例制定の時代背景	<p>私たちの暮らしを取りまく社会経済環境は急激に変化しています。社会の多種多様で高度なニーズに対応するため、地方分権が進み、地方の自主性が求められてきています。市民の市政への参加や相互の連携・協力を一層進め、市民が等しく尊重される社会を築かなければなりません。</p>	<p>○地方分権の進展、地方の自主性が求められている</p> <p>○社会経済環境などの潮流変化「参加や相互の連携」「等しく尊重され」</p>
3.目指すべきまち・自治の姿、進むべきまち・自治の方向性	<p>岩倉市は「健康で明るい緑の文化都市」を普遍的な将来都市像としてきました。</p> <p>これからも市民の主体性を大切にしつつ、自らが責任を負いながら、この実現を目指します。そして、未来を担う子どもたちに引き継いでいきます。</p>	<p>○健康で明るい緑の文化都市</p> <p>○市民の主体性を大切にしながら、しかし、責任も負う</p> <p>○未来を担う子ども達に引き継ぐ</p>
4.理想とするまち・自治の姿を実現する手段として必要な事項・姿勢	<p>市民、議会、行政の新しい協働の風土を築くよう、お互いが認めあい、ふれあい、助けあいながら、市民の主体性を大切に、全ての市民がまちづくりの担い手として、多様な個性や能力が発揮される地域社会の実現を目指し、努力を重ねていかなければなりません。</p>	<p>○市民・議会・行政の新しい協働の構築・風土</p> <p>○お互いを尊重し、認めあい、ふれあい、助けあいながら</p> <p>○市民の主体性を大切にしながら</p> <p>○それぞれ（団体）のもつ個性や能力がまちづくりに発揮される地域社会の実現</p>
5.条例制定の目的・理由や決意宣言	<p>私たち市民は、この精神を基本理念として愛着と誇りをもって暮らせる岩倉市を守り育てていくため、ここに自治基本条例を定めます。</p>	<p>○市民憲章を実現するため</p> <p>○まちを守り育てていくため</p>
6.その他	<p>この条例の精神をよりどころに市民・行政・議会が共に協力して、活動していきます。</p>	